

令和7年第7回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号	105	令和7年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	6 企画費	
事業番号	9	事業名	企画費(一般)			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	全般	総合計画における位置づけ			
			32 地域の思いや力を発揮できる環境をつくろう			
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	まちづくり課が所管する事業に関する一般的な経費	「大山町魅力向上の5本柱」における位置づけ			
			安心して快適なまちづくり			
			根拠法令・要綱等			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
72,201	120					120
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
今後の見込みによる増				職員手当等 児童手当 120千円		
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称	補正前の額	補正額	補助(充当)率	交付税措置率	

令和7年第7回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号	105	令和7年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	10 交通安全対策費	
事業番号	31	事業名	交通安全対策費(一般)			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	全町民、または町民のうち運転免許自主返納者			総合計画における位置づけ	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	交通事故の無い町を目指し、交通安全指導員・関係機関と連携し、広報活動などの交通安全対策を実施し、交通法規の遵守及び交通道德の高揚を図る。加えて、運転免許自主返納者に対する支援を行うことで、運転免許自主返納を促進し、交通事故の減少を図る。			27 移動も共有して安心安全な交通環境を実現しよう	
					「大山町魅力向上の5本柱」における位置づけ	
					安心で快適なまちづくり	
					根拠法令・要綱等	
					大山町運転免許自主返納支援事業実施要綱・大山町ハンドル形電動車いす等購入補助金交付要綱・大山町交通安全推進事業補助金交付要綱	
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,441	300					300
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
運転免許自主返納者に対する支援として、ハンドル型電動車いすの購入費を補助する。補助額は本体購入費の2分の1(上限100千円)。申請額が予算額を超える見込みのため補正を行う。 〈補正額〉 100千円×3台=300千円 予算額 500千円 申請件数 4件 400千円(8/20現在) 〈参考:申請実績〉 R6年度 3件 R5年度 8件 R4年度 7件				負担金補助金及び交付金 補助金及び交付金 300千円		
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称	補正前の額	補正額	補助(充当)率	交付税措置率	

令和7年第7回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号	105	令和7年度大山町一般会計補正予算(第5号)					
(提案理由 及び 議案概要) (単位:千円)							
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	11 公共交通対策費		
事業番号	33	事業名	デマンドバス事業				
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	対象者に制限はなく誰もが利用できるが、特に日常生活の移動に不便を感じる高齢者、障がい者等特に交通の配慮が必要な交通弱者			総合計画における位置づけ 27 移動も共有して安心安全な交通環境を実現しよう		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	誰もが、日常生活に必要なスーパーマーケット・医療機関・役場等へ移動できるようにすること。			「大山町魅力向上の5本柱」における位置づけ 安心で快適なまちづくり 根拠法令・要綱等 大山町予約型交通システムに関する条例,大山町予約型交通システムに関する条例施行規則		
	補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
	70,709	1,011	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				353			658
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳			
〈消耗品費〉 ・スタッドレスタイヤ2台分の購入費 90,000円×2セット=180,000円 〈燃料費〉 ・スマイル大山号の利用者増加に伴い、燃料費も増加していることから補正するものである。 見込み:3,166,000円－当初:2,500,000円=666,000円 4月から7月までの利用者 4,124人(前年同期間比149%) 〈通信運搬費〉 ・スマイル大山号は電話予約制であり、その通話料は利用者ではなく、本町が負担している。利用者増加に伴い、通話料も増加していることから補正するものである。 見込み:417,000円－当初:252,000円=165,000円				需用費 消耗品費 180千円 燃料費 666千円 役務費 通信運搬費 165千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)							
款-項-目-節-細節	説明名称	補正前の額	補正額	補助(充当)率	交付税措置率		
60-10-10-5-11	生活交通体系補助金	26,953	353				

令和7年第7回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号	105	令和7年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	25 統計調査費	目	2 人口統計調査費	
事業番号	62	事業名	国勢調査			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	住民			総合計画における位置づけ	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	国内の人及び世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的とする。			33 どこにお金を使うのか、誰が担うのかを見直そう	
					「大山町魅力向上の5本柱」における位置づけ	
					行財政改革の継続	
					根拠法令・要綱等	
		統計法				
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,695	495		495			0
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
国内の人及び世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的として5年ごとに行われる調査。支出見込みによる補正。 調査期日：令和7年10月1日				報酬 統計調査員報酬 130千円 会計年度任用職員報酬 180千円 職員手当 時間外勤務手当 185千円		
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称	補正前の額	補正額	補助(充当)率	交付税措置率	
60-15-10-25-2	人口統計調査委託金	8,695	495	10/10		

令和7年第7回定例会

議案説明資料

提出課：名和公民館

議案番号	105	令和7年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	50 教育費	項	20 社会教育費	目	2 公民館費	
事業番号	328	事業名	公民館費(一般)			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	公民館運営審議会委員	総合計画における位置づけ			
			08 公民館や図書館をもっと活用しよう			
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたのか)	生涯学習の実践や社会教育環境の整備のほか、学習の機会の提供を行い社会教育環境の充実を図り、生き生きと輝くひとづくりを行うため。	「大山町魅力向上の5本柱」における位置づけ			
			生涯教育と子育て支援の深化			
			根拠法令・要綱等			
教育基本法、社会教育法 大山町公民館条例						
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
187	105					105
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
【事業の概要】 中央公民館業務として、公民館全体の運営に関する事業を行う。 【予算の概要】 ・全国公民館研究集会東京大会(1泊2日) 公民館運営審議会委員1名参加 資料代 3,000円×1人(消耗品費) ①交通費 航空運賃(往復) 77,680円 大山町役場-米子空港(往復:58km) 1,160円 羽田空港-有楽町JR駅(往復) 1,340円 ②宿泊費(東京) 19,000円 ③宿泊手当(国内一律・一夜食事無し) 2,400円 旅費(費用弁償)①~③合計 101,580円				旅費 費用弁償 102千円 需用費 消耗品費 3千円		
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称	補正前の額	補正額	補助(充当)率	交付税措置率	